



『自殺に傾いた人への電話相談支援～若者のこころの特徴と対応～』

電話相談や相談窓口等で、さまざまな生きづらさを抱え、自殺に傾いた人と出会う機会がありますが、落ち着いて適切な対応をするには、知識や相談スキルを身につける必要があります。

本研修では、若者のこころの特徴を理解し、電話相談におけるリスクアセスメント、傾聴と共感等、相談支援の基本的コミュニケーション技法を学びます。

また、演習やロールプレイ等を通して、効果的な相談スキルを身に付け、日々の相談場面での対応力の向上をめざします。

日時 令和6年8月1日（木） 午前10時から午後5時まで

場所 ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）5階 特別会議室
（大阪府中央区大手前1丁目3-19）
<https://www.dawncenter.jp/>

対象 （1）大阪府内（大阪市・堺市を除く）の保健所・保健センター、市町村の保健・福祉関係部署で、精神保健福祉業務を含む相談支援業務に従事する職員
（2）大阪府内の高・中等教育学校・支援学校（大阪市立・堺市立を除く）、大学、専修・各種専門学校等、教育機関の職員 [定員:40名]

内容

- 講義
 - ・電話相談と面接相談の違い
 - ・援助（共感）的コミュニケーション技術
 - ・若者のこころの特徴について
 - ・「聴くこと（傾聴）」とは
 - ・基本的対応とリスクアセスメント
- 演習
 - ・反復
 - ・声のトーン
 - ・オープンクエスチョン
 - ・クローズドクエスチョン
 - ・反射
 - ・明確化
- ロールプレイ
 - ・リスクアセスメントの対応事例
- グループワーク

講師 関西福祉科学大学大学院 社会福祉学研究科 教授 都村 尚子 氏

その他

- ・申込み締切り後に受講決定通知を送付します。
- ・発熱、呼吸器症状のある方は参加をお控えください。

[申込み方法] 申込みフォームから直接お申込みください。

①氏名（ふりがな） ②職種 ③従事年数 ④所属機関名（例：大阪府こころの健康総合センター、〇〇大学、〇〇短期大学）⑤所属課名（例：事業推進課、学生支援課、健康管理センターなど）⑥電話番号 ⑦受講動機 ⑧講師への質問 ⑨研修を何で知ったか

[申込み先] こころのオアシス <http://kokoro-osaka.jp/>（研修→自殺対策研修 →「J-2」）
申込みフォーム <https://lgpos.task-asp.net/cu/270008/ea/residents/procedures/apply/30ff866f-8140-4496-970c-5e3660f1941f/start>

[申込み締切り] 令和6年7月18日（木）17時まで

*1 機関より複数参加申込みのあった場合は人数調整をする場合があります。

大阪府の自殺の現状

自殺の多くは、病気や障がい、慢性的な疼痛などの健康問題、倒産や失業、多重債務などの経済・生活問題、介護・看病疲れやいじめなど、個人の自由な意思や選択の結果ではなく、さまざまな要因が複雑に絡み合い、「心理的に追い込まれた末の死」と言われています。

自殺に追い込まれる危機は、「誰にでも起こりうる危機」と言えますが、適切な支援やサポートによって防ぐこともできます。

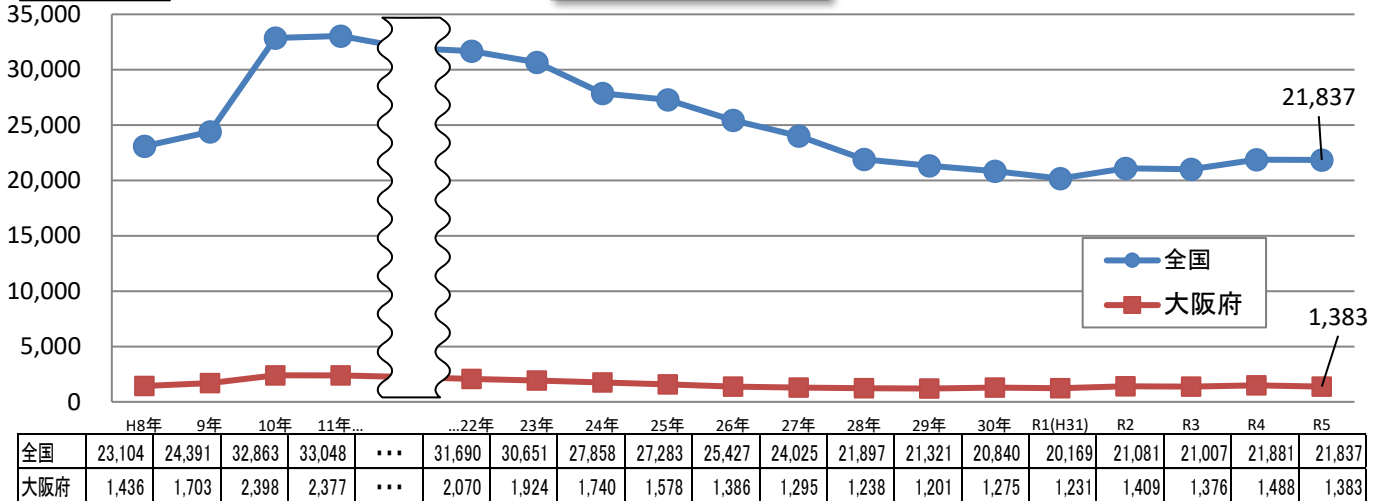
生きることへの包括的な支援をするために、関連機関が相互にかつ密接に連携する必要があります。



全国（人）

自殺者数の推移

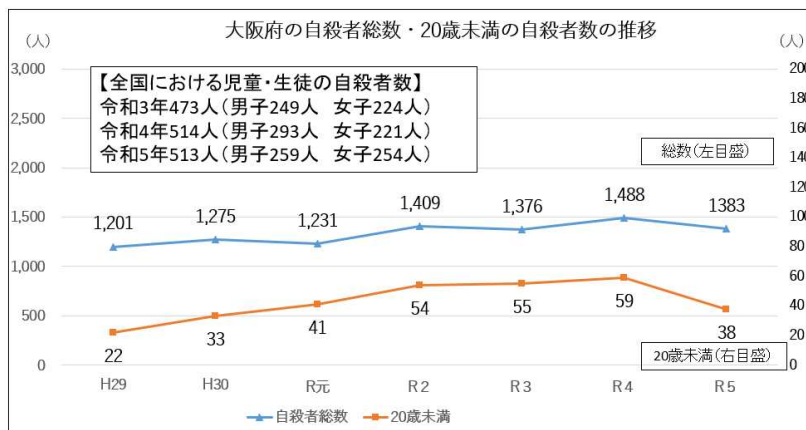
出典：厚生労働省自殺対策推進室作成 地域における自殺の基礎資料 発見日・発見地 ※警察庁の自殺統計



大阪府の自殺者数は、平成30年以降横ばい状態でしたが、令和2年に増加に転じました。令和3年は前年より減少し、令和4年は再び増加しましたが、令和5年は、前年より105人減少の1,383人となり、令和2年より少ない状況でした。

1日に約4人の方が亡くなっていることになり、依然としてたくさんの方の命が失われ、深刻な状況は続いています。

大阪府における20歳未満の自殺の状況



大阪府の20歳未満の自殺者数は男女ともに増加傾向が続き、令和4年は過去最多の59人で、令和5年は38人でした。男女とも増加傾向になったと平成30年以前の状況には戻っていません。

若者の自殺は遺族や社会への影響が非常に大きいことから、若年層への対策は特に重要で、関係機関が連携し必要な取り組みをきめ細かに実施することが必要です。

	H30年		R1年		R2年		R3年		R4年		R5年	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
20歳未満自殺者数	16	17	28	13	32	22	33	22	35	24	17	21

出典：厚生労働省自殺対策推進室作成 地域における自殺の基礎資料 発見日・発見地
 ※警察庁の自殺統計